

【葬齋場編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	葬斎場				
-----	-----	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	215
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	環境課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	仁別405番地79	敷地面積	6,978 m ²
	(西部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和49年度
建物構造	RC	延床面積	494 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	177,840千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	3,028円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態				
	328人	206人	人	267人	委託				
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等		1,910		① 施設維持コスト	修繕料		178
		国 費		-			火災保険料		-
		道 費		-			維持管理委託料		369
		その他		-			敷地借上料		-
		市費(一般財源)		11,909			工事請負費		-
	合 計		13,819		② 施設運営コスト	その他維持費		98	
						小 計		645	
						人件費		-	
						光熱水費		2,110	
				運営委託料		10,574			
				その他運営費		490			
				小 計		13,174			
				合 計(①+②)		13,819			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	51,757円/人		235円/人		27,974円/m ²				



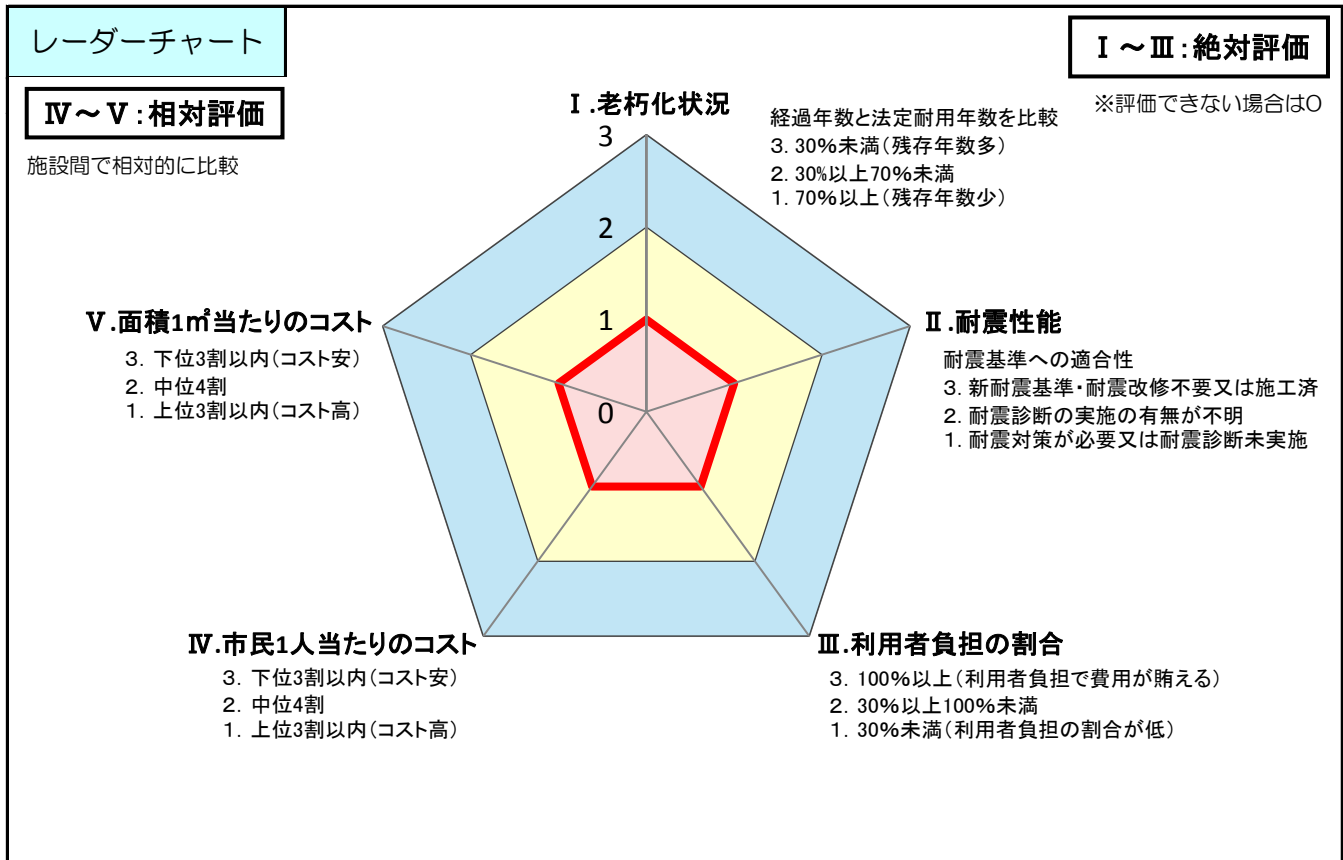
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H4	火葬炉改修等	6,316			
H9	火葬炉改修等	6,035			
H15	大規模改修(火葬炉新設、内外装改修)	53,025			
H24	排風機取替	1,712			
H26	電気設備修繕	1,151			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>88 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>対策が必要</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>14 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>235 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>27,974 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	